



2018～2019 年度
国際ロータリーのテーマ

Weekly Report

小諸浅間ロータリークラブ

- ◆例会日/週火曜日 12:30～13:30 ◆例会場/小諸市鶴巻 音羽
- ◆事務局/〒384-0025 長野県小諸市相生町 1-2-12 エイワンビル 3 階
- ◆会長 / 橋詰 希望 ◆副会長 / 前田 博志
- ◆幹事 / 黒澤 明男 ◆ガバ広報・情報委員長 / 新井 粒太



NO. 1444 平成31年1月29日

◆点鐘	橋詰 希望 会長
◆SAA	矢島 栄一 委員
◆ソング	我等の生業

【会長挨拶】 橋詰 希望 会長

大坂なおみが全豪オープンで、チェコのクビトバ選手に勝ち優勝し、世界ランキングで第1位になりました。皆さんもテレビを見ていたと思いますが、第1セットは必ずしも簡単に取れたわけではなく一進一退を繰り返し、第二セットは途中まで勝っていたのにクビトバが逆襲し、負けてしまいました。第3セットもクビトバが先行しましたがようやく勝てた試合でした。実は私はある飲み会でテレビを見られず、メールで優勝を知ったのですが、ビデオに撮っておき後で見ました。ビデオですから気になったところも戻して見ることができ、本当にどちらが勝ってもおかしくない接戦で4大タイトルの試合に相応しかったと思います。お互いをたたえあった中で、チームの支えを特にたたえあったところが印象的でした。大阪はサーシャ・バイン氏をコーチに迎えてから精神的に安定し、試合で大阪が崩れそうになった時に対話を重視して励ましていた光景が印象的でした。トレーニングコーチとしてサーシャが招いたシラー氏がフィジカルの指導をして、瞬発力や持久力がついたといえます。大坂ももちろんすごいです、チームで勝ち取った勝利だと思いました。これで全米と全豪の2大タイトルを取りまだ先も期待が持てます。試合の中できびきびとしたボールキッズの動きにも感心し運営に携わった方たちにも感謝したいと思います。

国内でも初場所から15年間無休のモンゴル出身の玉鷲が優勝したこと、その日に2男が生まれたこと、御嶽海が3日間の休場の後3勝し三役の地位を守り、殊勲賞を取ったことなど、先週はスポーツに関心が高まりました。玉鷲

のお姉さんが日本に留学して東大の大学院に行っていたという説もありますが、クエスチョンマークです。

今日の卓話は職業奉仕について委員長の朝倉さんにしていただきます。規定などの紹介でなく実践されているお話しをお願いいたしました。いつも無理を言ってすみません。よろしく願いいたします。

【幹事報告】 矢島 栄一 会員

1. 国際ロータリー日本事務局よりロータリーレート変更について

2月より1ドル=110円(現行112円)に変更

2. 東信第一グループ小池ガバナー補佐・東信第二グループ滝澤ガバナー補佐より「IM・会員セミナー聴講のお誘い」

日時 2月17日(日)

会場 上田東急REIホテル

IMではタレントの松山三四六氏 一般の方々にも聴講いただけます。

3・例会変更

小諸RC	2月20日(水)	定刻受付あり
	3月 6日(水)	定刻受付なし
東御RC	2月13日(水)	定刻受付なし
	2月27日(水)	定刻受付あり
	3月20日(水)	定刻受付なし
丸子RC	2月14日(木)	定刻受付なし
	2月28日(木)	定刻受付あり
	3月21日(木)	定刻受付なし
	3月28日(木)	定刻受付あり

4. (株)クマヒラより抜萃のつづり

〈本日の配布物〉

理事会報告、IM・会員セミナー委員会構成表、抜萃のつづり

次週のプログラム :2月 5日 「自己小伝」 新藤 修一 会員

次々週のプログラム :2月12日 「化粧回し贈呈式」

◆出席報告 朝倉 俊次 委員

会員数20名 出席義務者20名 免除者0名
本日 出席 13名
事前 MU 1名 65.00%
前々回(1/15) MU 0名 85.00%

◆ラッキー賞

NO. 6 小池平一郎 君

◆ニコBOX 加藤 輝男 委員長

前田 博志君	小池先生。2600 地区ありがとう。	小池平一郎君	久しぶりのラッキー賞、ありがとうございます。朝倉委員長よろしくお願い致します。地区委員をおおせつかりました。何とか努めたいと思います。
橋詰 希望君	朝倉さん、卓話ありがとうございます。	朝倉 俊次君	たいした、お話はできませんがよろしくお願いします。
加藤 輝男君	ここ一日、二日雪が有り仕事に繁栄させて頂いてありがたい事だと思います。会員の皆様は事故等されない様にお願ひ致します。よろしくお願ひ致します。		

【本日のプログラム】 「職業奉仕月間について」 奉仕プロジェクト委員会 朝倉 俊次 委員長



本来であれば職業奉仕月間ということでその話を進めなければいけないのですが、私自身、理解が思うように出来ておりません。ですので、職業奉仕とは異なりますが自分の会社が仕事を通じて地域社会にどのような貢献が出来るのか、それを考えてみました。

つい最近のことですが、同業の会社を引き受けることになりました。当然のことながら取引先は増えまして、例えば幼稚園 につきましては、東信地区では20近くの園に給食を届け、一部の高校や専門学校、また大学の学食等でも食事を提供させて頂いております。日配の弁当は1500社以上と取引させて頂く事になり毎日一万食以上をご利用頂いております。社員食堂の受託も40社以上になりますし、今まで受けて来なかった病院や高齢者施設、福祉施設等も30施設くらいは給食を請け負う事となりました。

幼稚園に通う小さな子供から、学生さん、一般の社会人、介護を必要とするお年寄りと、様々な人たちに給食をお出しする事となり、その責任を改めて実感しております。

子供たちに万が一のことがあってはいけませんし、お昼を楽しみにしているお弁当や社食・学食の利用者の皆さんの期待にも応えなければなりません。もしかして、病院や介護施設ではその人にとって最後の食事が私共の作ったもの、そうなることもあるでしょう。ひと口に給食といっても色々な場面での提供が出て参りました。

ココラデや御厨の様な店舗はお客様自身が選ばれてご来店されます。それに比べると弁当や社食の業者選定は会社間で行われることが多く、個人の思いは届きにくいものです。ですから提供する私達は、ご利用頂くお客様ひとりひとりの積み重ねで今の仕事が営まれていることを強く自覚し、その期待に応えて行かねばなりません、

今朝の新聞にも、病院や福祉施設でインフルエンザの集団感染が伝えられております。施設で働く私共のスタッフも通常とは異なる対応を求められております。学校や幼稚園でも学級閉鎖などの動きが出てくるでしょう。それと共にこの時期はノロウイルスが大変気がかりな案件のひとつとなります。家族含めた健康管理をスタッフ全員にお願いする毎日です。

安心・安全は当たり前今の日本です。ひと昔前なら許されたことでも今は絶対に NO ということが多いです。2020年には、飲食業にハセップの取得が義務化されて参ります。年々守らなければならぬこと、やらなければいけないことが増えてきていますが、めげずにお客様からの「ごちそうさん」のひと言を励みに美味しい物を作る事で、地域社会に少しでも貢献出来ればと思います。